



データで見る 金沢大学 2023

KANAZAWA
UNIVERSITY



データで見る金沢大学2023

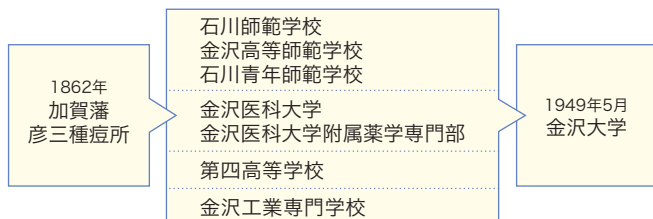
CONTENTS

1	沿革・組織	01
2	基礎データ	02
3	教育	03
4	研究	06
5	社会共創	08
6	国際交流	11
7	附属病院 / 附属図書館・資料館	13

1 沿革・組織

沿革

金沢大学の起源は1862年の加賀藩彦三種痘所まで遡ることができ、160年以上の歴史があります。さまざまな学校の歴史と伝統を引き継ぎ、1949年5月に新制大学として発足。2004年4月、国立大学法人となり、新たな一歩を踏み出しました。



教育研究組織

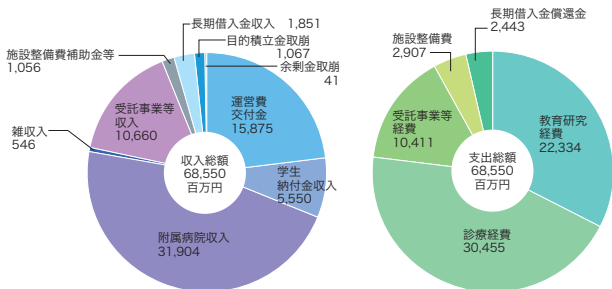
未来創成教育環	研究域 融合研究域／人間社会研究域／理工研究域／ 医薬保健研究域
4学域・20学類	附属病院
融合学域 先導学類／観光デザイン学類／ スマート創成科学類	統合創成研究環
人間社会学域 人文学類／法学類／ 経済学類／学校教育学類 地域創造学類／国際学類	附置研究所等 がん進展制御研究所／ナノ生命科学研究所／ナノマテリアル研究所／設計製造技術研究所／高度モビリティ研究所／古代文明・文化資源学研究所／先端観光科学研究所
理工学域 数物科学類／物質化学類／ 機械工学類／フロンティア工学類／ 電子情報通信学類／地球社会基盤学類／ 生命理工学類	附属図書館
医薬保健学域 医学類／薬学類／ 医薬科学類／保健学類	学内共同教育研究施設 学術メディア創成／環日本海域環境研究／ 疾患モデル総合研究／子どものこころの発達研究／ 先進予防医学研究／環境保全／未来知実証 の各センター
国際基幹教育院	保健管理センター
大学院7研究科	グローバル人材育成推進機構
人間社会環境研究科	新学術創成研究機構
自然科学研究科	先端科学・社会共創推進機構
医薬保健学総合研究科	国際機構
先進予防医学研究科	ダイバーシティ推進機構
新学術創成研究科	学内共同利用施設 極低温研究室／資料館／技術支援センター
法学研究科(法科大学院を含む)	高大接続コア・センター
教職実践研究科(教職大学院)	教学マネジメントセンター
養護教諭特別別科	教職総合支援センター
	数理・データサイエンス・AI 教育センター

2 基礎データ

収入予算・支出予算

金沢大学の令和5年度予算額は、約686億円。これは、石川県の一般会計予算額の約1/9、金沢市の約1/3の金額となっています。

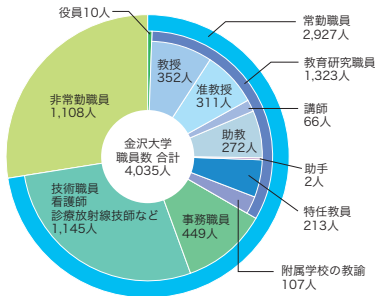
[2023年度の収入予算額と支出予算額](単位:百万円)



職員数

金沢大学で働くスタッフ数は、4,035人。全体に占める女性割合は55%で、そのうち教育研究職員については21%となっています。

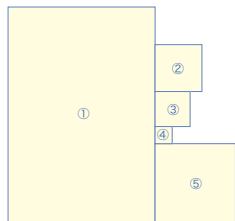
[金沢大学で働く職員数とその内訳]



キャンパス面積

豊かな緑に囲まれたロケーションにある角間キャンパス。このメインキャンパスをはじめとする金沢大学の総面積は約257万㎡です。

[各キャンパスの面積対比]



- ① 角間キャンパス 2,008,565㎡
本部・融合学域・人間社会学域・理工学域・
医薬保健学域(薬・医薬)・がん研 ほか
- ② 宝町・鶴間キャンパス 151,053㎡
附属病院・医薬保健学域(医・医薬・保)ほか
- ③ 平和町地区 79,876㎡
附属幼・小・中・高
- ④ 東兼六地区 10,517㎡
附属特別支援
- ⑤ その他 319,221㎡
臨海実験施設
能美学舎
学生寮・職員宿舍 ほか

①+②+③+④+⑤
金沢大学 総面積 2,569,232㎡



3 教育

金沢大学の特色ある学びの枠組み

2008年4月、より幅広く柔軟な学びの提供を目指し、学部学科制から学域学類制に移行。2018年4月には、時代のニーズに応じて学類再編を行い、2021年4月には融合学域先導学類、医薬保健学域医薬科学類を設置。さらに2022年4月には融合学域観光デザイン学類、2023年4月には融合学域スマート創成科学類を新設し、4学域・20学類としました。

- 経過選択制：基礎基本を学びながら、ゆっくりと、じっくりと自分のテーマを選ぶことができます。
- 副専攻制：所属する学類・コースのカリキュラムに加え、学類やコースの区分を超えて、一人一人が主体的に興味関心のある分野を学修。学際的・横断的な学びで、視野を広げ柔軟な発想力と応用力を鍛えます。

金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS)

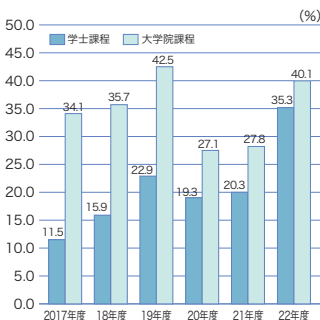
KUGSとは

金沢大学が育成する人材の具体的な姿を6つのスタンダードで定めています。グローバル化が進む国際社会において、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていくために必要な能力・体力・人間力を備えた人材の育成を目指しています。

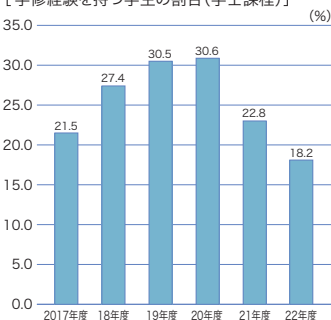
- 1 自己の立ち位置を知る
- 2 自己を知り、自己を鍛える
- 3 考え・価値観を表現する
- 4 世界とつながる
- 5 未来の課題に取り組む
- 6 新しい社会を生きる

- 共通教育科目ではKUGSを基軸とした学士課程の基盤としてGS(Global Standard)科目とGS言語科目を端緒に体系的なカリキュラムを展開しています。加えて、専門教育科目では全学域で学域GS科目にデータサイエンス応用科目等を開設し、自身の専門分野と他分野の知見を深め、未来課題の解決に挑戦する人材を育成します。
- 未来創成教育環は、教育・学修環境のDX改革を進め、教学IRと個別最適学修支援システムの活用により、学生自身が「自ら学び、自ら育む」教育環境を構築します。

〔外国語による授業科目割合〕



〔卒業時までに海外大学等での学修経験を持つ学生の割合(学士課程)〕



学生数

約10,000人の学生が在籍しています。
うち女子学生は3,762人(36.4%)です。

(単位:人)

(収容定員 9,609)

[学域等別学生数]

学域・学类等	学生数	研究科	学生数
[融合学域] 先導学類, 観光デザイン学類, スマート創成科学類	229 (83:36.2%)	大学院修士 (博士前期) 課程	1,420 (331:23.3%)
[人間社会学域] 人文学類, 法学類, 経済学類, 学校教育学類, 地域創造学類, 国際学類	2,959 (1,565:52.9%)	大学院博士 (博士後期) 課程	952 (283:29.7%)
[理工学域] 数物科学類, 物質化学類, 機械工学類, フロンティア工学類, 電子情報通信学類, 地球社会基盤学類, 生命理工学類	2,594 (374:14.4%)	専門職学位課程 (法学研究科, 教職実践研究科)	67 (32:47.8%)
[医薬保健学域] 医学類, 薬学類, 医薬科学類, 保健学類	1,923 (1,004:52.2%)	計	2,439 (646:26.5%)
国際基幹教育院 総合教育部	150 (55:36.7%)	別科	37 (35:94.6%)
計	7,855 (3,081:39.2%)		

合計

10,331(3,762:36.4%)

()内の数値は女子学生の人数および割合です。

附属学校園幼児・児童・生徒数

[附属学校園在籍者数]

(単位:人)

学校名	在籍者数	学校名	在籍者数
幼稚園	88(49:55.7%)	高等学校	365(191:52.3%)
小学校	621(315:50.7%)	特別支援学校	59(25:42.4%)
中学校	476(239:50.2%)		

合計

1,609(819:50.9%)

()内の数値は女子児童・生徒の人数および割合です。

入学状況

地元北陸3県を中心に、全国各地から
入学者が集まります。

全体数	入学者 1,777人 入学志願者 4,035人
-----	----------------------------

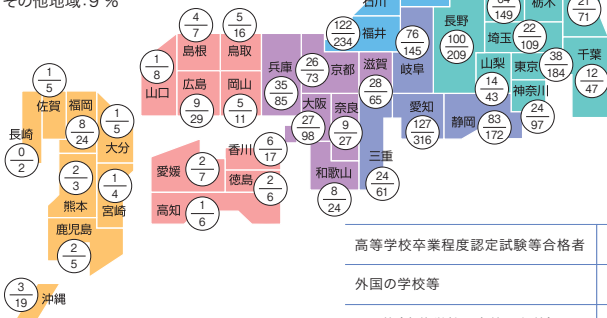
[都道府県別※入学者数(2023年度)]

$\frac{B}{A}$ B=上段は入学者数
A=下段は入学志願者数
を示す

※出身高等学校等の所在地による。

[入学者地域別割合]

北陸三県:43%, 関東・甲信越地域:23%,
東海地域:17%, 近畿地域:8%,
その他地域:9%

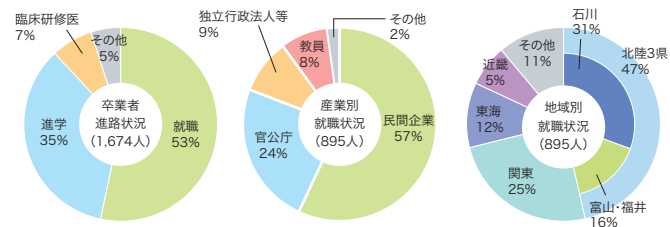


高等学校卒業程度認定試験等合格者	$\frac{2}{13}$
外国の学校等	$\frac{8}{35}$
その他(専修学校の高等課程等)	$\frac{0}{2}$

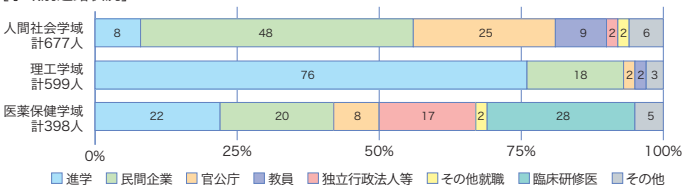
卒業後の進路状況等

学士課程卒業者の累計は100,078人に達し、社会の各方面で活躍しています。

[2022年度卒業者進路状況・産業別就職状況・地域別就職状況]



[学域別進路状況]



※グラフの「% (パーセント)」表記は、小数点第1位を四捨五入しているため、合計値が「100%」にならない場合があります。

4 研究

2023年版 Nature Index Annual Tables ランキング



科学誌『Nature』を発行する大手学術出版社のシュプリンガー・ネイチャーが、質の高い研究に貢献した研究機関および国を調査し、ランキングにした2023年版 Nature Index Annual Tables。

分野別では、Health Science分野で**国内大学8位**、Earth and Environment sciences分野で**国内大学10位**、総合で**国内大学13位**と、金沢大学の研究は世界的にも高い評価を得ています。

学術論文数・学術論文被引用数

大学の研究面での成果や実績を示す指標の一つである「学術論文の被引用数」。

分野別では、薬学・毒性学分野で**国立大学10位**、地球科学分野、神経科学・行動科学分野で**国立大学11位**と優れた研究実績を有します。

学術論文の総論文数を、過去10年の伸び率で比較すると**国立大学6位**であり、大学全体の研究に対する成長率が高いことが読み取れます。
(東京大学：11位、京都大学：14位)

学術論文を教員一人あたりの本数に換算すると約12.3本。これを被引用数上位の大学間で比較すると**国立大学11位**であり、コストパフォーマンスの面でも優れた数値を示しています。

【日本の論文の引用動向 2013.1-2023.2 日本の研究機関ランキング】

○クラリベイト・アナリティクス社「Essential Science IndicatorsSM」データベースを基に作成。

○大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」を基に作成。

金沢大学企画評価室および先端科学・社会共創推進機構調べ。

科研費

日本の学術振興のため優れた研究を支援する「科研費」。2022年度の教員一人あたり新規採択件数は**国立大学3位**であり、全国でもトップレベルの採択水準となっています。

【2022年度科研費 教員一人あたり採択件数ランキング(新規採択分)】

順位	大学名	教員一人あたり採択件数	採択件数
1	東京大学	0.329	1,298
2	東京医科歯科大学	0.306	261
3	金沢大学	0.295	303
4	熊本大学	0.286	232
5	九州大学	0.286	693
6	京都大学	0.284	990
7	東京工業大学	0.282	291
8	名古屋大学	0.270	620
9	大阪大学	0.269	888
10	東北大学	0.250	794

○文部科学省「令和4年度科学研究費助成事業の配分について」(2023.1公表)を基に作成。

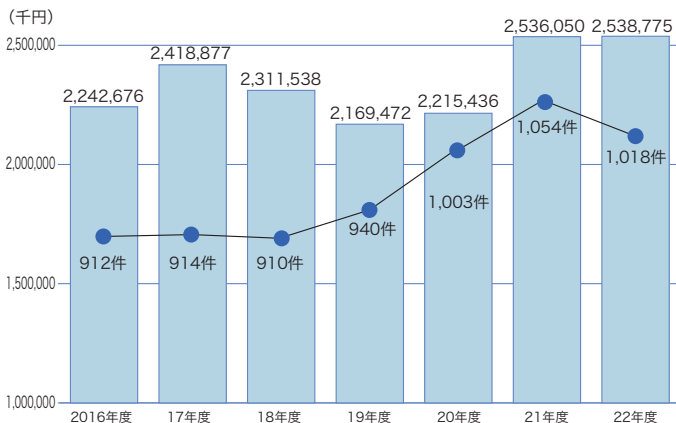
○大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」を基に作成。

※研究代表者の所属する大学等により整理している。

■2022年度の新規+継続の合計では、受入件数1,018件、交付金額25億3,878万円です。

[科研費交付金額・受入件数の推移]

各年度実績



■金沢大学では、先端科学・社会共創推進機構(FSSI)が中心となって、申請書類作成のための説明会や研究費支援など、さまざまな方策を実施することにより、科研費の一層の獲得増を目指しています。

5 社会共創

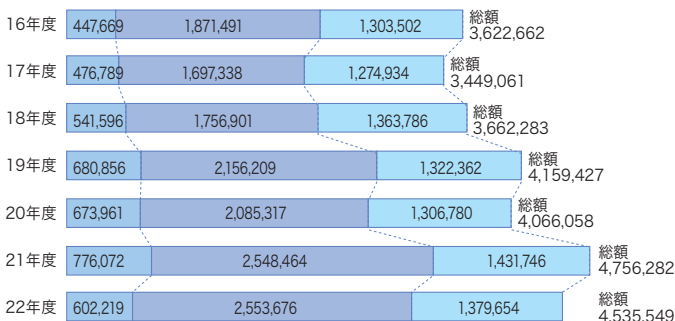
産学官連携

—外部資金

研究成果の社会実装を目指して、共同研究・受託研究・寄附金の受け入れを積極的に推進しています。

[共同研究費等の推移] (単位:千円)

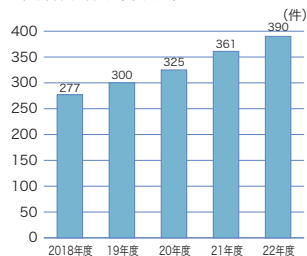
■ 共同研究 ■ 受託研究 ■ 寄附金



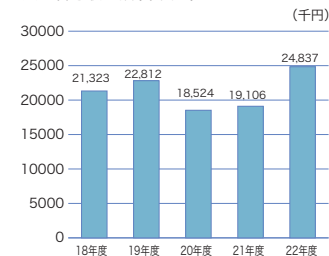
—発明届出・特許出願

研究の成果によって生み出された大学の特許は、実施料収入等だけを得るのではなく、大学の研究成果が社会で最大限活用されるための手段として利用されています。

■ 特許保有件数 (年度別)



■ 実施料等収入額 (年度別)



—研究分野別シーズ集

金沢大学の人社系・理工系・医薬保系の全領域の研究シーズをフリーワードで検索できるデータベースを作成・公開しています。

金沢大学 シーズ データベース

<https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/seeds/>

社会連携

—自治体との連携協定数

石川県および富山県の15の各市町自治体と連携協定を締結しています。

- ①石川県
- ②金沢市
- ③七尾市
- ④小松市
- ⑤輪島市
- ⑥珠洲市
- ⑦加賀市
- ⑧羽咋市
- ⑨白山市
- ⑩能美市
- ⑪志賀町
- ⑫中能登町
- ⑬穴水町
- ⑭能登町
- ⑮富山県南砺市



—地域との連携

■北陸未来共創フォーラム

北陸地区の国立4大学と、北陸の多様な企業・諸団体・行政機関等とが協業する産学官金プラットフォームです。イベント開催やテーマ別の分科会を通し、オール北陸で新産業創出や人材育成に取り組み、北陸の未来を創ります。

登録会員(経済団体、企業、自治体等)数: 149会員



新しい未来、新しい機会、新しい価値。
北陸未来共創フォーラム
Hokuriku Future Co-creation Forum

■Project: AERU(アエル)

いろんな人に「会える」、個性や強みを「和える」、みんなで学び「合える」の3つをコンセプトとした、地域参加型の課外活動プログラムです。学生が企業、自治体や地域の方と連携して、地域の魅力発信や課題解決に取り組みます。

これまでに430人の学生が参加



■能登里山里海SDGsマイスタープログラム

世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」など能登の豊かな地域資源を正しく評価し、能登の活性化を担う人材を育成します。多様な職種の人々との共創により、新たなビジネス創出と持続可能な地域づくりにつなげていきます。

これまでに232人のマイスターを輩出

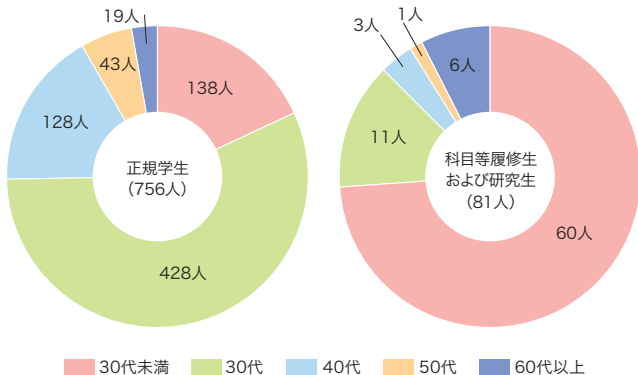


リカレント教育

■ 社会人学生の受け入れ

社会人学生が学びやすい環境を整えるため、土日・夜間に講義・研究指導を受けられる特例措置や、入学から卒業・修了までの履修期間をあらかじめ長く設定できる制度を設けています。

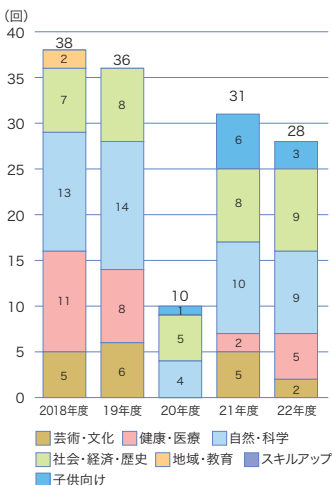
[社会人学生の年代別内訳]



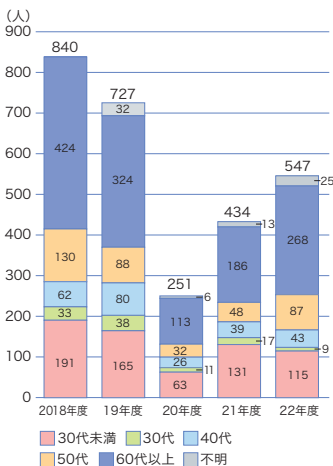
■ 公開講座

価値観の多様化、高度化する学習ニーズに対応し、一人一人の自発的な学習活動を支援するため、幅広い分野の講座を企画し、生涯にわたる学びをサポートします。また、金沢市内だけでなく、珠洲市内、小松市内にもサテライト拠点を設置し、県内全域の学習ニーズに対応しています。

[講座数の推移]



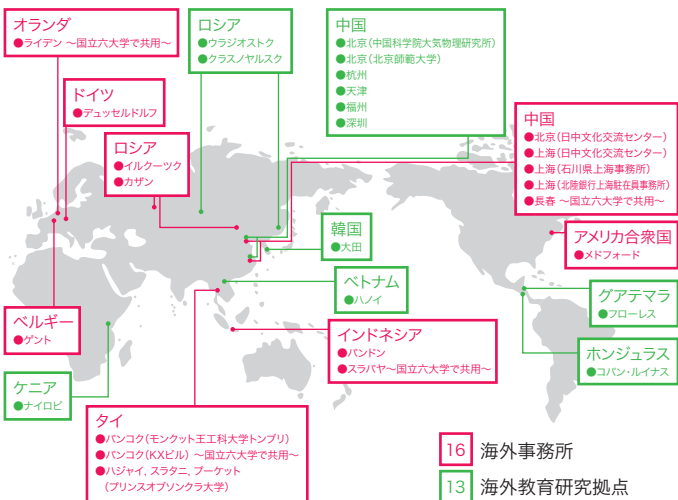
[受講者数の推移]



6 国際交流

海外リエゾンオフィス

現地での学生募集、広報活動などを目的とした「海外事務所」と、本学教員の研究活動、学生の海外研修プログラムなどで利用される「海外教育研究拠点」があります。



国際交流協定締結校

環日本海の基幹大学、東アジアの知の拠点として、世界のトップレベルの大学との交流を積極的に推進しています。

[大学間/部局間国際交流協定 機関分布]

	アジア	中東	オセアニア	アフリカ	ヨーロッパ	ロシアおよびNIS諸国	北アメリカ	中南アメリカ	国際機関
大学間 国際交流協定 227機関 (55カ国1地域)	133	8	6	5	35	16	12	11	1
部局間 国際交流協定 93機関 (29カ国1地域)	57	1	3	2	22	3	4	-	1
総計 320機関 (61カ国1地域)	190	9	9	7	57	19	16	11	2

公式海外派遣プログラム派遣者数の推移・派遣留学生数

1 沿革・組織

2 基礎データ

3 教育

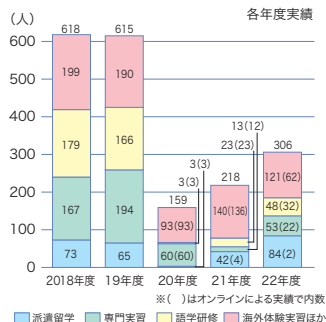
4 研究

5 社会共創

6 国際交流

7 附属病院／附属図書館・資料館

[公式海外派遣プログラム派遣者数の推移] 各年度実績



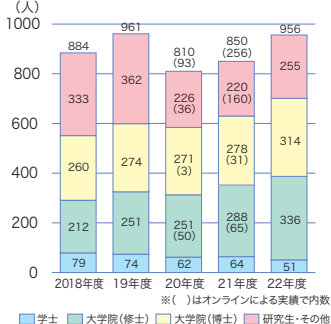
[派遣留学生の留学先(過去10年間の累計)] (単位:人)

国名	人数	国名	人数
ドイツ	67	タイ	18
アメリカ	65	マレーシア	17
オーストラリア	45	アイルランド	15
韓国	44	カナダ	15
フランス	43	チェコ	11
イギリス	37	ベトナム	10
中国	37	ロシア	10
ベルギー	34	スウェーデン	6
フィンランド	29	ポーランド	6
スペイン	28	その他	23
台湾	22	派遣総計	582

※2020年度よりオンラインによる実績も含まれます。

外国人留学生の推移・地域別数

[外国人留学生受入状況の推移] 各年度実績



[外国人留学生の出身国・地域] (単位:人)

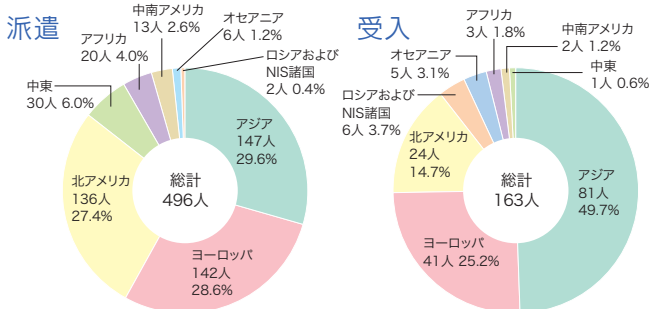
国・地域(受入上位国)	人数	地域別	人数
中国	464	アジア	813
インドネシア	114	ヨーロッパ(NIS諸国を含む)	100
タイ	59	北米	17
ベトナム	43	アフリカ	11
ロシア	28	北南米	7
バングラデシュ	27	オセアニア	5
台湾	24	中東	3
ドイツ	21	受入総計	956
韓国	18		
マレーシア	16		
モンゴル	16		
アメリカ合衆国	14		
フランス	9		
ミャンマー	9		

※オンラインによる実績も含まれます。

研究者等派遣・受入数

[研究者等交流実績(2022年度)]

※グラフの「%(パーセント)」表記は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が「100%」にならない場合があります。



7

附属病院／附属図書館・資料館

1 沿革・組織

2 基礎データ

3 教育

4 研究

5 社会共創

6 国際交流

7 附属病院／附属図書館・資料館

附属病院

附属病院は35の専門診療科の下、地域の病院・診療所、保健行政機関や医師会等との地域医療支援ネットワークづくりを進めています。

診療科数 35科

ベッド数 830床

【診療状況(2022年度)】

診療状況	外来	延べ患者数	376,643人
		1日平均患者数	1,550.0人
	入院	延べ患者数	214,582人
		1日平均患者数	587.9人
平均在院日数		13.3日	

※外来診療日数243日

【患者紹介率(2022年度)】

紹介率	80.8%
逆紹介率	73.0%

※紹介率:

初診患者さんのうち、他の医療機関から紹介されて来院した患者さんと救急搬送された患者さんの割合。
(紹介患者数(初診) + 救急車搬入患者数(初診)) ÷ 初診患者数(休日・夜間患者数を除く)

逆紹介率:

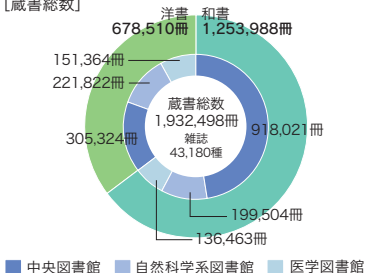
初診患者さんに対し、他の医療機関に紹介した患者さんの割合

逆紹介患者数 ÷ 初診患者数(休日・夜間患者数を除く)
これらの割合が高いほど、地域の医療機関と密に連携が取れていることを表しています。

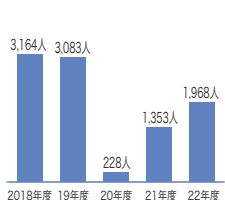
附属図書館

附属図書館は、中央図書館(角間キャンパス北地区)、自然科学系図書館(角間キャンパス南地区)および医学図書館(宝町・鶴間キャンパス)の3館で構成されています。

【蔵書総数】



【学外からの附属図書館利用者数】

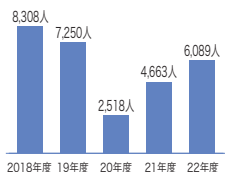


入館者 468,430人
貸出冊数 86,711冊

資料館

モノ資料約77,000点、文書資料約11,000点の計約88,000点の資料を収蔵し、展示・閲覧等に供しています。

【資料館入館者数】






金沢大学

KANAZAWA UNIVERSITY

発行／金沢大学広報戦略室

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL.076-264-5024 FAX.076-234-4015

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/>

※このリーフレットの掲載内容および最新ニュースなどについては、金沢大学Webサイトでもご覧いただけます。
 ※データは特別な記載がある場合を除き、2023年5月1日現在のものです。

